



くらしの情報

第16回 消費者まつり開催

テーマ「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない2019～」

令和元年5月12日(日)に四国大学で、徳島県と協会が主催の「2019消費者まつり」を開催しました。今年度はエシカル条例制定後、初めての消費者市民社会推進期間に実施することから「エシカル消費」がサブテーマでした。

当日は学生・生徒をはじめ500名を超える方にご参加頂きました。

第1部では、「消費者支援功労者表彰」及び「とくしまエシカルアワード表彰」を行いました。消費者支援功労者表彰ベストサポーター章には安田孝子さん、徳島県立城西高等学校さん、生活協同組合とくしま生協さんが選ばれました。エシカルアワード表彰には株式会社日誠産業さん、特定非営利活動法人あわ・みらい創生社さんが選ばれました。

続いて、今年9月5日・6日に消費者庁と徳島県の共催で開催される「G20消費者政策国際会合」を盛り上げるため、国際会合に参加される方々に向けた歓迎メッセージ披露、参加者全員での「ウェルカムとくしま!」のかけ声など、キックオフイベントを実施しました。

消費者宣言では、阿波市土成消費者協会が「地域とともに」を、平成30年度消費者大学卒業生が「共生社会を作るための消費者ネットワークづくり」を、徳島県立つるぎ高等学校が「地産地消と社会貢献」を発表しました。

第2部は、四国大学の華麗な阿波おどりで幕を開け、徳島県のマスコットキャラクター「すだちくん」が消費者庁から消費者教育推進大使の委嘱を受けました。

その後はエシカル関係イベントを実施し、まずは、第1部で「とくしまエシカルアワード表彰」を受賞された方々が取組発表を行いました。

また、徳島出身のモデルでエシカルファッションプランナーの鎌田安里紗さんに「エシカルファッションから考えるこれからの消費～服と自然と社会のつながり～」をテーマにご講演いただきました。講演後は、四国大学短期大学部 加渡いづみ教授とのトークセッションを行い、とてもわかりやすかったと好評でした。

各消費者協会等による展示販売は、大勢の人で賑わい交流を深めることができました。四国大学、徳島商業高校、城西高校、吉野川高校、つるぎ高校なども出展。各ブースとも工夫をこらした内容でしたので、参加者のみなさんにご満足いただけたかと思います。

また、会場外では、警察キャンペーンカー「ふれ愛こだま号」が啓発を行いました。

様々な人と交流を深め、各団体の消費者宣言を聞くことで、改めて消費者問題に取り組もうという気持ちが高まりました。このイベントを契機として県民一体となり、消費者問題の解決や消費者教育の推進に取り組んでいきましょう。



発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL(088)625-8285(代) FAX(088)625-8312 E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp



南部地区

阿南市(阿南支部)

今年はマイカップヌードル作りと大阪水上バスで川面から大阪を散策の行程です。

車中では、今話題の「レジ袋削減について」アンケートを実施しました。今や喫緊のテーマです。役員さんの配慮で「綾取り」も楽しみました。

昼食はホテル18階で豪華なランチを頂きながら大阪城を眺める贅沢な時間です。その後は朝ドラで



話題のラーメン発明記念館で、マイカップに絵や思いを込めて、ひととき童心に帰りました。記念写真に納まり帰路につきました。(大上 公子)

美波町

6月12日 一日研修 神戸方面参加39名。バスの中では会長挨拶、県消費者協会の近況など色々な話でいつのまにか現地に到着、須磨離宮公園に入園。目についたのは噴水広場。水をモチーフにした欧風噴水公園は、初めて見る光景でした。昼食後はメインのキューピー株式会社訪問。部屋に案内され、担当の方に会社創立から現在に至るまでの説明を受け工場見学。ドレッシング、マヨネーズの種類の多さに目をみはりました。特にマヨネーズは38種類もあるそうです。そこで紹介されていたマヨネーズを使った料理を1つだけお伝えします。厚焼き玉子(ボールにマヨネーズを入れ水をそそぎ、小麦粉を入れ少し粉が残るくらいで揚げる(玉子4に対しマヨネーズ大さじ1)) ふっくらふわふわ。(尾花 善子)



東部地区

小松島市

5月の定期総会に於て県薬務課の田中麻理先生の「食品と薬」について講演があり、薬の飲み方や副作用、又サプリメントやジェネリックなどについて詳しく説明して下さいました。総会閉会の後、会員による「詐欺にも事故にもあわれん！」と題した寸劇があり、ユーモアも入れて分かり易かったです。日々の中にしのび寄る巧妙な手口にだまされないよう、個人個人が気を付けなければいけないと痛感しました。



6月の一研修は舞鶴引揚記念館と美山かやぶきの里でした。

今年度より新会長のもと、消費者活動について会員全員で取り組まなければならないと思います。

(秦 恵美子)

神山町

神山町消費者協会では、町議会の傍聴を、12月か3月の定例会一般質問の日に合わせて行っています。平成26年に全面改装された議場は神山産の木材が多く使われ、とても落ち着いた雰囲気です。傍聴を通して、町のどのような問題が話し合われているのかが分かり、その後も「議会だより」によく目を通すようになりました。住民の政治への関心低下が言われる中、より良い町造りのためにも、身近なところから関心を持ち続けたいものだと思います。やがて関心が様々な方面へと広がることを願って。

(西崎久美子)



上勝町

令和と年号が変わり心機一転という感じがします。でも社会では色々な悲しい出来事が後をたたく、不安一杯の幕開けとなっています。私達もあわただしい日々の中、ゴミの分別、振り込め詐欺の電話、ハガキ等、高齢者宅への予防に自治体、警察の方々と共に務

北部地区

鳴門市

平成30年11月「はじめましてエシカル消費」と題して、四国大学教授の加渡いづみ先生をお迎えして、最近話題の「エシカル消費」について解りやすく教えて頂きました。例えば、食品を選ぶ時は、消費期限の近い物を選ぶようにします。そうすることで、廃



棄処分される食品を減らすことができます。他にも、地場産品やエコ商品を選んだり、被災地の産品を買ったりするなど、人や環境や社会を思いやる、それがエシカルだと学びました。今後、機会あるごとにエシカル消費を広めて行きたいと思います。

(野村 富子)

上板町

令和元年6月18日に町内の独居老人の方にトイレットペーパーを配りました。また町内公共施設・保育所・幼稚園・小中学校にも配りました。それらは毎月最後の木曜日に収集したアルミ缶を、町内3地区松島・大山・高志の役員さんがリサイクルセンターにてプレス作業を行い、それを換金した報酬で購入しています。独居老人の方に喜んで頂いただけでなく、学童保育の“ささえ員”様よりお礼状を頂いたり、“まつっこだより”にも載せて下さった様です。これからも協会一丸となり取り組んでいきます。



(飯田マサ子)

西部地区

山川町

老人カフェでの話です。ある日業者の訪問を受け修理を勧められた。不安だったので即答せず帰ってもらった。「これは点検サギかもしれませんね。」「消防署です。」と電話がかかって来ました。「独り暮らしか?」と尋ねられ、「はい」と答えてしまった。不信感を覚えた。心あたりのない着信に出してしまった時は、自分から名乗らない。会話を続けずすぐ切る。特に高齢者などに対しては、地域で身近な人を見守り、様子の変化に気をつけたいと思いました。



(南蘭 民代)

阿波市吉野

阿波市吉野消費者協会は7月16日に、年1回の手芸講座を開きました。梅雨時のとても蒸し暑い日でしたが、会員の方20名程の参加でした。係の方が準備して下さり、布に型を取り縫ったらよいように印まで付けて下さり、大変だったと思います。会員の方は材料を表はこれ、裏はこれと思い思いに選び縫い始めました。「針に糸が通らん、誰か通して。」とか、「ここまで出来た、次はどうするん。」とか大変にぎやかに作品が仕上がり、とても可愛らしいセカンドバックが出来ました。楽しい手芸講座でした。(露口 幸子)





「G20消費者政策国際会合」の 徳島県での開催に向けて

消費者行政新未来創造オフィス
政策企画専門職 北島 孝紀

消費者庁は、本年9月1日で創設10周年を迎えます。この節目となる年の9月5日、6日の2日間、消費者庁及び徳島県では、「G20消費者政策国際会合」を開催します。消費者庁にとっては初めて主催する国際会合であり、また、国と県が共催するというあまり例のない取組です。消費者庁と徳島県が一体となって準備を進めており、開催に向けた機運を高めるイベントも複数開催しています。

毎年5月の消費者月間には全国で関連行事が開催されますが、5月12日に徳島県で開催された「消費者まつり」では、国際会合のキックオフイベントが行われました。各国からの参加者を歓迎するメッセージの募集が開始され、当日は飯泉徳島県知事や消費者庁の金子参事官もメッセージを発表しています。

国際会合の100日前に当たる5月28日には、徳島県庁1階にカウントダウンボードが設置され、除幕式の様子は地元メディアにも大きく取り上げられました。カウントダウンボードの数字が少なくなるにつれて、国際会合の開催に向けた職員の緊張感も高まっています。

6月19日からは、通訳サポーターの養成講座が始まりました。県内大学生やシルバー大学校大学院生の方々が、空港での送迎、会場内や視察先での案内などに必要な研修を受けています。

7月29日には、消費者行政新未来創造オフィス開設2周年記念フォーラムに合わせ、国際会合のプレイベントとして「とくしま学生サミット」が開催されました。県内各大学から参加した学生が、国際会合の議題の1つでもあるSDGsに関連して、それぞれのエシカル消費に関する考え方を「マイエシカル」として発表しました。

「G20消費者政策国際会合」では、デジタル化の急速な進展に伴う新たな消費者問題への対処やSDGsの推進など、各国に共通する政策課題を議論するとともに、徳島県における消費者行政の取組も紹介されます。一部のセッションは一般公開することとしていますので、御関心のある方はぜひ足を運んでいただければと思います。

情報掲示板

徳島県消費者情報センター

●水漏れの修理トラブル

「蛇口から水漏れし、慌ててチラシの業者に電話で見積もりを依頼した。来訪した業者は、『詳しい見積もりのため水道管の内部を見る』と蛇口を取り外し、『給水設備全体の交換が必要』と50万円の見積書を出した。高額なので工

事を断ったら、作業料2万円を請求された」という相談がありました。

水漏れ修理は消費者自身で対処することが難しく、専門業者に依頼することがあります。

しかし、その場で高額な契約をするよう急がされたり、契約を断ると見積費用や出張費を請求されたりするなどのトラブルが発生しています。

事前に、見積もりにかかる費用やキャンセル料が発生するのかを確認しましょう。また、緊急を要するトラブルに備え、安心して依頼できる業者の情報を事前に集めておくことも大切です。

(メールマガジン6月25日配信)

全国消費者協会連合会令和元年度総会

令和元年度通常総会が6月20日(木)東京で開催され、内山常務理事と中瀬事務局長が出席した。

議事については、平成30年度事業報告及び会計報告、令和元年度の事業計画及び収支予算案について、すべて原案どおり承認された。

続いて、功労者表彰伝達式が行われ、13名の方に表彰状が授与された。

また、翌21日には、農業・食品産業技術総合研究機構の田部井室長による「ゲノム編集技術の動向」等に係る研修会が行われた。

受賞おめでとうございます。

徳島県表彰

東みよし町消費者協会(元木誠子会長)

消費者支援功労者表彰

安田孝子さん(徳島県消費者協会)

全国消費者協会連合会表彰

安田孝子さん(徳島県消費者協会)

喜多操子さん(小松島市消費者協会)

とくしま環境賞

徳島広域消費者協会(鈴木秀夫会長)

とくしま環境県民会議表彰

関和行さん(松茂町消費者協会)

令和元年度徳島県消費者協会通常総会

令和元年5月24日(金)、とくぎんトモニプラザ4階会議室において開催された。安田会長の挨拶、三好徳島県消費者くらし安全局長のご祝辞の後議事に入り、第1号議案の平成30年度事業報告及び決算報告、第2号議案の役員改選、第3号議案の令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、いずれも満場一致で可決された。

議事終了後、NPO法人阿波国古代研究所の藤井榮氏による記念講演があり、総会は盛会裡に終了した。

令和元年度徳島県消費者大学校

本年度の徳島県消費者大学校が、令和元年6月15日(土)から8月10日(土)まで計8日間開催され、受講生の皆さんは、最近の消費者問題や地域消費者リーダーの役割等、消費生活に関わる幅広い分野に渡り、熱心に学習に取り組みされました。42名の卒業生の皆さんの今後のご活躍が期待されます。消費者大学校は、今年で33年目で、1,632名の皆さんが卒業されています。

